

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第110回 「初心に帰って・・・」

こころの相談員 小林 節子

私事ですが、長女の誕生日が2月18日。毎年この日が来ると、もう何十年も前のことなのに、鮮明に記憶が蘇ってきます。母となった喜びとともに「この小さな命を守り育てていかなくては」という強い責任感がわきおこってきたこと。赤ちゃんが夜中に泣く声に慣れなくて、とても不安だったこと。（夜通し抱いていたこともありました。）2800グラムと小柄だったので、体重を少しでも増やそうと必死で授乳したこと。その長女も結婚して2児の母ですが、私はいまだに娘にささやかな誕生日プレゼントを贈っています。月並みですが、『私たちの娘に生まれてきてくれてありがとう』という気持ちがこみ上げてきます。

子どもを育てていると、親は自分の時間、あるいは自分の人生の一部を犠牲にしているような気持ちになったり、なかなか親の思いが子どもに通じなくて苦しい思いをしたりすることがあるでしょう。けれどそれ以上に子どもから受け取った喜び、感動、幸せがあるはずです。子育てにいきづまっていると、そうしたプラスのことを忘れがちです。そんな時、思い出してください。子どもが生まれた日のことを。どんな親も子どもへのいとおしきで輝いていたはずですから。

※小林相談員は、あさひ園・育児相談で相談を行っています。

1月活動報告

1月20日（火） たんぼぼ教室

今年初めてのたんぼぼ教室。
風邪に負けず子どもたちは元気！

もうすぐ節分！
悪い鬼を、みんなで退治しました！



たんぼぼ教室

次回：3月10日（火）

対象：1歳6ヶ月以上（申込制、定員30名）

参加ご希望の方は、子育て健康課までご連絡ください。

TEL 377-5652